



事務局

岡谷市長地片間町 2-5-5

TEL, FAX 0266-28-9230

## ニュース No.50

# 頌 春

## 代表者新春メッセージ

\* 岡谷九条の会は皆さまのお陰で、地味ながらいろいろな活動を続けて七年目の新春を迎えることができました。会員の増えないことが悩みです。昨年三月の原発事故は、安全神話に目隠しされていた国民の目を覚まさせてくれました。広島、長崎を破壊した原爆と同じ核は、平和利用のできない、安全なものではなかったのです。今年は、憲法九条を守ることに加えて、反核の姿勢で歩いていくつもりです。ご協力ください。 **笠原忠夫**

\* 昨年の大震災と原発の被害は全く予期しないものでした。被災された多くの方々には本当にお気の毒なことでした。しかしいかなる事態にあろうとも「平和憲法を守る運動」がなおざりにされてはいけません。戦争放棄の九条を守ることによってこそ、日本の平和、世界の平和が存在するものと確信します。核兵器廃絶、原発停止とともに、お互いに励まし合って、運動を展開していこうではありませんか。 **中澤康人**

\* 先頃の品川正治さんの講演は88歳とはとても思えぬものでした。心に残った言葉をいくつか。☆憲法は日米安保条約よりはるかに上位にある法典である。☆軍事基地は巨大な武器である。☆世界が変わると日本はどうなるかではなく、日本がこう変わると世界はこう変わるということを実証しよう。☆経済を人間の目から見ることはできないのか。 **中野裕剛**

\* 今や地球上では70億人の人々が暮らしています。それらの人々を支えるために地球温暖化などの環境、食糧、エネルギー問題も大切になってきます。今回の原発事故では、人類のコントロールできない放射性物質を使うことの怖さを改めて知らされました。しかし日本政府は事故の原因調査も終わらないうちに外国に原発を輸出することを決めました。原発は決してクリーンエネルギーではありません。最近憲法改正に向けての憲法審査会が動きつつあるようです。しっかりと監視していきましょう。 **野村忠利**

\* 自然界にとって科学とはなんでしょう。「自然や人間性を置き忘れて、ひたすら進歩のみを目指して突っ走る科学技術が、どんなに深い亀裂や、歪みを社会にもたらし、差別を生み、人間や生命あるものを無惨に傷つけていくか」鉄腕アトムの手塚治虫さんの言葉です。飽くなき科学技術の追求は、誰にも止めることはできません。どうしたらいいのでしょうか？“これ以上はいけない”という科学者の良心に拠るしか無いのではないのでしょうか。科学に携わる人間は、宗教、哲学、倫理学を修める必要があると思うのですが、皆様はいかがお考えでしょうか。 **八幡武芳**

## 活動行事の報告

### 10月15日（土）講演会「諏訪の風土と人間」イルフプラザ

森の人清水馨 諏訪自然塾塾長のからまつストーブに至るまでの自然との取り組みと、実戦的清水風土論は、30名余の聴衆に深く感銘を与えた。

### 11月19日（土）九条の会全国交流集会 東京 日本教育会館

全国より700名以上の代表者が集まり、経験交流がなされた。各地の「九条の会」もそれぞれ工夫して原発問題に取り組んでいることが話された。

### 12月4日ピースウオーク 諏訪市湖畔公園

「脱原発諏訪連絡会」も合流し100人以上が絶好の天気の中、元気に楽しいパレードができた。（落し物 オリンパスVoice Trek 連絡は事務局まで）

### 12月18日（日）日本のあり方を考える県民の集い 長野市

会員へのお知らせが間に合いませんでしたが、長野県民文化会館で、品川正治、辻井喬、中馬清福 三氏の鼎談があり、1,700人が講師の話に耳を傾けました。諏訪地区からもバス2台80人余が参加しました。

## 今後の予定

### 1月9日（祝）平和たこあげ大会 13:30～岡谷市湖畔公園

前回のニュースで日付けが誤っていましたが、御注意下さい。

自分用を持参されてもよし、連凧を代わりあってあげてもよし、寒気をきって老幼男女皆で凧揚げを楽しみましょう。どなたでも大歓迎です。

### 1月28日（土）さらば原発県民集会 長野県松本文化会館

13:00～16:00 入場料1,000円（事務局にあります）

市民団体「サラバ原発・変えよう暮らし方の会」（田中欣一会長）が草の根からの運動を呼びかけています。是非ご参加を。（詳細は別紙チラシを）

### 2月11日（土）例会 講演「原爆と九条」 藤森俊希

イルフカルチャーセンター 13:30～16:00 一般参加大歓迎

語り手は 長野県原爆被害者の会会長 一才半で被爆、大家族の中での被爆体験、被爆者の心と九条、原爆と原発など率直に思いを述べられます。